



2019年度の寄贈資料など

貴重な資料を寄贈していただき、ありがとうございました。



稲里小・中学校元校長 森谷彰氏収集の穂別産を中心とした大量のアンモナイト化石などを受け入れました（2019-009）。



絶滅していない貝類化石種
および現生標本（2019-002、
003）。講義で使用しました。

子ども化石くらぶで採集し
た魚の歯の化石を寄贈して
いただきました。この産地
からは初めての発見です
（2019-010）。

渡部恒男氏採集の宮古層群
化石などを受け入れました
（移管）。整理中です。

寄贈資料（敬称略）

資料数

- 2019-001 アンモナイト 顎器 (1) 阿部純也（苫小牧市）
- 2019-002 現生貝類 (4) 野村真一（千葉県立木更津高校）
- 2019-003 新生代貝化石 (8) 野村真一（千葉県立木更津高校）
- 2019-004 巻貝化石 (1) 大頭龍一（むかわ町穂別）
- 2019-005 アンモナイトほか化石 (31) 福本左一（むかわ町穂別）
- 2019-006 アンモナイトほか化石など (31) 山岡利汎（むかわ町穂別）
- 2019-007 二枚貝化石 (1) 福本左一（むかわ町穂別）
- 2019-008 アンモナイト ニッポニテス (3) 伊豆倉正孝（札幌市）
- 2019-009 穂別産アンモナイトなど（化石・岩石）(1,257) 森谷彰（元・穂別町）
- 2019-010 魚の歯化石 (1) 遠藤大騎（浦河町）

カムイサウルスのこれまで③



小林准教授にメールで送った”恐竜”化石の写真

この化石が恐竜のものである可能性が出てきたので、櫻井和彦学芸員は、恐竜化石の専門家である小林快次准教授（北海道大学総合博物館）に画像を添えてメールで連絡しました。小林准教授は一目で恐竜化石であると感じ、後日、穂別博物館に来館し、化石の観察を行いました。



恐竜化石を観察される小林准教授
(2011年9月)

恐竜化石であることの発表の反響は大きいので、確実に恐竜であることを確認するために化石を一度持ち帰り、精査したいとのことでした。それとは別に、よく理解できないことを質問されました。ここにあるものがすべてですと説明したのですが、「残りはどこですか？」と聞かれました。

(文中の肩書・所属などは当時のもの)

学芸員 西村智弘

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2020年5月

日	月	火	水	木	金	土
					4	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

休館日 町民無料観覧日

臨時休館

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、周知期間の長短に関わらず臨時休館となる場合があります。最新の開館予定につきましては、博物館 HP

(<http://www.town.mukawa.lg.jp/2402.htm>) をご覧になるか電話 (0145-45-3141) でお問い合わせください。



穂別市街のガソリンスタンドは夜間と日曜日は営業していませんのでご注意ください。